

11月16日～30日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
05/11/16 (水)	東京は円が小幅安。如所でM&A絡みの円売りが噂されるなど円は買い難い雰囲気。欧米はユーロが独歩安。対米証券投資が過去最高となりドル高の様相を呈するなか通信社電が追い討ち。	・BOEインフレレポート「インフレは8月時点の予想よりも幾分弱い見込み」 ・10月の米CPIは0.2%、9月の対米証券投資は1019億ドル ・独次期財務相がECBに金利据え置き求める	・米大統領「中国の通貨切り上げと貿易面での取り組みを歓迎」 ・一部通信社電「ECBの利上げは1月の公算、12月は意見分かれる」	118.85 118.84 119.58 119.20	139.42 138.90 139.85 139.06	寄付 安値 高値 終値
05/11/17 (木)	東京は一転円が小幅高。人民元切り上げ思惑などから円が連れ高。また株価の大幅高も円買いを後押し。欧米は円高というよりユーロ高。12月利上げ思惑がユーロの買戻しに火をつけた。	・10月の米住宅着工件数201.4万戸、同鉱工業生産0.9%、同設備稼働率79.5%、11月のFF連銀景況指数11.5 ・欧州委員会が今年と来年のユーロ圏インフレ見通しを上方修正	・米著名情報社「中国首相が為替アドバイザーと緊急会談」とのレポート送信の噂(中国中銀筋がその後否定) ・米著名情報社「ECBは12月利上げ」とのレポート送信の噂	119.12 118.47 119.15 118.80	139.07 138.50 139.70 139.59	寄付 安値 高値 終値
05/11/18 (金)	東京は小動きのなか円が小幅安。株価が堅調に推移しているものの、円買いには繋がらず。欧米はドル高というよりユーロ高。ECB総裁による発言を好感したユーロ買いが活発。	・日銀が政策決定会合で金利据え置き決定、ジャッジは7対2	・安部官房長官「小泉首相就任後の株高値更新は信頼を得た結果」 ・G7筋「ドルの動きは秩序だったものである限り問題はない」 ・ECB総裁「緩やかに利上げする準備ができていく」	118.83 118.70 119.40 119.10	139.59 139.07 140.24 140.24	寄付 安値 高値 終値
05/11/21 (月)	東京は小幅ながら円独歩安。量的緩和解除に対する不透明感や株価下落などもあり円売り進む。欧米はユーロ買いでスタートするもECB総裁が利上げに一転否定的な発言をしたことで軟調裡。	・10月の米景気先行指数0.9%	・ECB総裁「一連の利上げの始まりはまだ見られない」 ・パウエルECB理事「ECBは行動する準備が整っている」 ・シカゴ連銀総裁「インフレ観測高まれば一段の引き締めが必要」	119.17 118.55 119.46 119.05	140.32 139.32 140.74 139.60	寄付 安値 高値 終値
05/11/22 (火)	東京は翌日が休場とあってか目立った動意はほとんど見られず。新規材料も乏しく様子見ムード。欧米はユーロ高が進行。円が基本的に買い難いなか、FOMC議事録要旨が失望の内容となり結果ユーロ高。	・第3四半期独GDPは0.6% ・FOMCが11月1日会合の議事録要旨公開	・伊首相「欧州の利上げに懸念していない」 ・新FRB議長候補「海外での債券需要の変化に米国は対応可能」	119.11 118.67 119.52 118.75	139.74 139.47 140.41 140.30	寄付 安値 高値 終値
05/11/23 (水)	東京休場で薄商いのアジアタイムにドルは小幅安。調整と思しき売りが入ったが下値も堅く下げ渋り。欧米は再びドル買いムード。ただ米国が翌日休場となるため、積極的な動意は手控えられた。	・BOEが全会一致で金利据え置き決定 ・11月のシカゴ大消費者信頼感指数81.6	・LM連銀総裁「米利上げ終了したと判断するのは時期尚早」 ・G7筋「12月のG7声明、変更しても大幅でない見込み」 ・ECB総裁「中期的なインフレリスクが高まった」	118.86 118.20 119.04 118.73	140.41 139.54 140.44 140.37	寄付 安値 高値 終値
05/11/24 (木)	東京は小動き。この日は米国市場が休場で依然として全般的には手控えムード強い。米国休場で欧米も主要通貨は全般的に静か。ただ英ポンドはやや荒れた値動きに。	・10月の貿易黒字7197億円 ・日銀が金融決定会合の議事録要旨公開 ・11月の独IFO景況指数97.8 ・中国外為当局が人民元取引でマーケットメーカーを認可へ	・独連銀副総裁「ECBが利上げをしても景気は減速しない」 ・渡辺財務官「インフレ懸念でG7が認識を共有する状況ではない」	118.77 118.54 118.97 118.92	140.22 139.94 140.40 140.19	寄付 安値 高値 終値
05/11/25 (金)	東京は引き続き小動き。各国の金利動向に注視しつつも手控え商況に変化なし。欧米は米国が休日と土日の狭間で動意薄。ただドル買い意欲は旺盛で対円ではついにレンジ抜け。	・10月の全国消費者物価 0.1% ・第3四半期英GDPは0.4%	・谷垣財務相「緩やかながら依然としてデフレが続いている」 ・蘭財務相「ECBの利上げは有効であり景気の回復を示す」	119.12 119.11 119.69 119.55	140.32 140.11 140.62 140.21	寄付 安値 高値 終値
05/11/28 (月)	東京はレンジ内で採み合い。ただ日経平均株価が15000円の台に迫ったこともあり円は底堅い。欧米はユーロ独歩高。発表された米経済指標が悪化するなか、有力情報社レポートの噂がドルを指した。	・10月の米中古住宅販売709万戸 ・米最高裁の外壁が剥落し落下(一部でテロ懸念も?) ・米財務省為替報告「上期の為替操作国はない」	・大手生保幹部「下期の為替は120円を超えるより110円方向に戻る」 ・一部メディア「日本の財務省高官、現状の円相場は快適」 ・有力米情報社が「ECBが複数回の利上げをする」とのレポート送信の噂	119.73 118.34 119.94 118.85	140.25 139.97 140.95 140.84	寄付 安値 高値 終値
05/11/29 (火)	東京は円安でスタートするもレンジリと買い戻される展開に。人民元切り上げ思惑などが円買い材料に。欧米は一転してドルの買い戻し強まる。発表された米経済指標がいずれも良好でドルの買い要因に。	・金価格が22年ぶりに500ドル突破 ・10月の失業率4.5% ・10月の米耐久財受注3.4%、11月の米消費者信頼感指数98.9、同新築住宅販売142.4万戸	・財務省幹部「G7では金利動向や原油を議論、人民元を含む為替も議題」 ・ブルトン仏経済財務産業相「いまはECBが利上げする適切な時期とは言えない」	118.93 118.80 119.70 119.68	140.87 140.40 141.09 140.96	寄付 安値 高値 終値
05/11/30 (水)	東京は方向感に乏しくレンジ内で乱高下。株価も終盤は下げたため円買いの要因になりきれず。欧米は結果円安。米経済指標はこの日も良好でドル買い要因に。金利差に着目した円売り目立つ。	・日経平均が一時15000円を回復 ・第3四半期米GDP改定値4.3%、10月のシカゴPMIは61.7	・岩田日銀副総裁「解除後の利上げは先行きの物価1%程度展望が必要」 ・米地区連銀報告「10月中旬から11月中旬に掛けて経済活動拡大」	119.77 119.23 119.84 119.82	140.91 140.54 141.35 141.24	寄付 安値 高値 終値

* 製作・著作；「FXニュースレター」

URL； <http://www.fx-newsletter.com/>